

鉄と共に！ 新たな幕開け

父・滋氏が創業した藤澤鐵店代。チェーンブロックの「たる（前身）の長男に生まれ「鐵雄」み」をプランコ替わりに遊んだの名を授かり、生家は鉄屋のメッ時に鎖と鎖の噛み合わせ部分にツカ、墨田区亀沢町。最初の家で お尻の肉を挟んで痛い思いをしは自宅の土間に事務所を構え、たのも、今では懐かしい思い出引越した2番目の家も、工場と隣接する職住一体の典型だった。

鉄板に囲まれ、シャーリング た新たに鉄と歩む第2幕が開ける。新ライン「鐵腕レベラー」が稼働し、村山鋼材との協業も始まった。自身も会社も「鉄と共に生まれ変わります」。

藤澤 鐵雄氏

(藤澤鋼板社長)

(昭和28年2月16日生)



三ツ目通り沿いの墨田区亀沢町にあった「藤澤鐵店」(前身)の工場にて。本人(3歳頃)のうしろに鉄板のヤマとシャーリングがみえる

2013年(平成25年) 1月9日 水曜日

日刊 産業新聞

藤澤鋼板社長

藤澤 鐵雄氏



全日本学生スキー選手権で 実行委員長を務めた(福島・猪苗代)

「わが青春のピーク」と語る若かりしころの姿が写った1枚は学生時代に全日本学生スキー連盟の学生委員長と

スキーは一生の友

「わが青春のピーク」と語る若かりしころの姿が写った1枚は学生時代に全日本学生スキー連盟の学生委員長と

して、猪苗代で開かれた全日本学生スキー選手権大会の実行委員長を務めた際のもの。小1からめきめきと頭角を現し、中1で検定1級に合格するなど、「周囲からは神童と呼ばれた。だが、高校進学後にインターハイなど全国に活躍の場を移すと、徐々に雪国出身選手との実力差を痛

感。大学では2年時に監督からマネージャーに転向を勧められた。シヨックも大きかったが、「与えられた環境の中で結果を出してこそのチームに貢献できると気持ちを入れ替える」と、寄付金集めや全国有資格者のスカウトに奔走。学連の運営にも尽力し、学生委員長と「スキーは一生の友。生涯滑り続ける」とあらためて宣言している。(53年2月16日生まれ、東京都出身)

現在母校のOB団体・三田スキー倶楽部の副理事長を務める。昨年は勢い余って、けがすることもあったが「スキーは一生の友。生涯滑り続ける」とあらためて宣言している。(53年2月16日生まれ、東京都出身)